

# 社会医学会レター

日本社会医学会 2026-1号 2025年7月1日発行  
事務局担当理事 波川京子

学会ホームページ：<http://jssm.umin.jp/>

運営事務局 合同会社ソーテリア（藤本容子） 〒260-8677

千葉市中央区亥鼻 1-8-1 千葉大学医薬系総合研究棟 I-801

TEXTL & FAX : 043-226-2979 E-mail: [issm@soteria.cc](mailto:issm@soteria.cc)

## 事務局情報

1) 日本社会医学会の歴史は長いですが、会費納入率が80%を下回っています。学会運営は会員の方々の会費に支えられていますので、会員の方々に会費納入と会員拡大をお願いいたします。会費は年10,000円、学生会費3,000円です。また、封書が戻ってくることもあり、住所や所属、アドレス等の変更がありましたら、下記事務局か [jssm@soteria.cc](mailto:jssm@soteria.cc) にご連絡ください。

2) 本学会誌はJ-STAGEの登録誌に採択され、「社会医学研究 41巻2号」よりJ-STAGEに搭載しています。以下のサイトから「社会医学研究」でアクセスしてください。

<https://www.jstage.jst.go.jp/browse/-char/ja>

3) 2027年の第68回総会は木村美也子先生（昭和女子大学）を大会長として東京で開催予定です。日程が決まり次第HP等でお知らせします。

4) 昨年9月から、日本社会医学会事務局が、久留米大学から大阪歯科大学に移転いたしました。

〒573-1121 大阪府枚方市楠葉花園町11-8 大阪歯科大学看護学部 波川京子 事務局アドレス：[namikawak@cc.osaka-dent.ac.jp](mailto:namikawak@cc.osaka-dent.ac.jp) になります。学会ホームページ：<http://jssm.umin.jp/> は変更ありません。

## 第67回 日本社会医学会総会 ご挨拶

大会長 播本雅津子 名寄市立大学保健福祉学部看護学科 教授（公衆衛生看護学）

この度、2026年8月29日（土）30日（日）に、名寄市立大学にて第67回日本社会医学会総会を開催させていただくこととなりました。このような貴重な機会をいただきましたこと、日本社会医学会の皆様には厚く御礼申し上げます。

名寄市は北海道の北部、北緯44度の地にあり、農業を基幹産業とした人口2万4000人（2026年2月現在）の市です。旭川から北のエリアの中核となる小都市で、裁判所や税務署、ハローワークといった国の機関が置かれ、管轄人口約5万人の二次医療圏の中心地でもあります。2日間の日程にご参加いただくには3日以上の上の日程を確保していただくことになり、お時間と経費がかかりますことにはどうぞご容赦下さい。この度の開催に心から感謝し、名寄市民をあげて皆様をお迎えする所存です。

2024年1月に発生した能登半島地震では、各方面から僻地の暮らしや災害への備えについて改めて考える機会となり、阪神淡路大震災以降の数々の大災害でも気づかれなかった僻地の課題に国民の関心が向き始めたところかと思えます。名寄市は内陸にあり、過去には水害に苦しんだ地域ではありますが、治水により現在は自然災害の恐れはあまりなく、山間部に熊は多数生息していますがその影響も特になく暮らしています。

しかしながら、二次医療圏は府県並みの広さがあり、夜間救急や高度医療を必要とする救急搬送には距離と搬送手段という大きなリスクを常に抱えています。近隣町村は高齢化率40%も珍しくない高齢社会です。農業が基幹産業のため、広大な農地を年々減少する農家が1戸あたりの耕作面積を広げながら維持しています。近年は小学校・中学校を1つの9年制の義務教育学校に統合するという少子化先進地でもあります。個人商店が閉店し買い物に苦慮する集落も増えています。

この度の総会では、人口減少が著しい僻地の取り組みを日本の未来図の1つとして感じていただき、それぞれが活躍される分野を通じて社会医学の未来を考えていただく機会となれば幸いです。

名寄市までの行程をお調べになり、所要時間および必要とされる旅費に驚かれた方が多かろうと思えます。その点は大変恐縮に思っておりますが、この機会に僻地の暮らしに興味を持っていただくことを期待いたします。皆様のお越しを心からお待ち申し上げます。

# 第67回日本社会医学学会

北の大地、くらしのそばで見つける社会医学

2026年8月29日(土)30日(日)

名寄市立大学 (北海道名寄市)



大会HPはこちら

## プログラム

### 基調講演 (29日)

「北北海道における地域医療の現状と課題」  
和泉裕一 氏 (名寄市病院事業管理者)

### 特別講演 (29日)

「北国・名寄の時空を訪ねて」  
鈴木邦輝 氏 (元名寄市北国博物館館長、天塩川流域史研究会代表、なよろ観光ボランティアの会会長、北海道アウトドアガイド (自然))

### シンポジウム 1 (29日)

テーマ「試される大地」の最前線：  
暮らしの結節点から見る北海道北部のいま

座長・報告1 清水池義治 氏 (北海道大学大学院農学研究院准教授) 「道北の社会・経済と地域振興のネットワーク形成」

報告2 今野聖士 (名寄市立大学保健福祉学部教養教育部准教授) 「地域に寄り添うラストワンマイル：地域密着型コンビニの物流戦略」

報告3 芳賀寛之 氏 (旭川開発建設部地域連携課課長) 「いのちの道・暮らしの道：道北のインフラ整備と地域活性化」

### シンポジウム 2 (30日)

テーマ「過疎地の健康と暮らしを守る」

座長 播本雅津子 (名寄市立大学)

報告1 飯田希 氏 (利尻町国保中央病院看護科長)  
・小松友紀恵 氏 (利尻町役場こども家庭センター副所長兼保健指導係長・保健師)

「島民の”生きる”を支える～島の看護師・保健師の使命感」

報告2 布施彩音 氏 (中頓別町保健福祉課保健師)  
「小さな中頓別 (まち) のしあわせをデザインする」

### 次世代企画委員会 (30日)

テーマ「人口減少社会で暮らす若者の声」

高校生・大学生・大学院生の参加者を募ります。  
詳細はHPでお知らせします。

### 一般演題 (29日)

ポスター発表  
大会HPからお申込み下さい。

### 大会長講演 (29日)

「なぜ名寄に大学があるのか？」  
播本雅津子

### エクスカーションのご案内

8月30日(日)13:30～18:00

中川町・音中道路・音威子府村・幌延町方面にバスで向かいます。

会費：3500円 (軽食付き)

大会HP参加者向け情報のページからお申込み下さい。

### 情報交換会のご案内

8月29日(土)19:00～20:30

グランドホテル藤花

会員・非会員 6000円

学生・高校生 3000円

大会HP参加者向け情報のページからお申込み下さい。

第67回日本社会医学学会総会 実行委員会

〒096-8641 北海道名寄市西4条北8丁目1番地 名寄市立大学内

事務局長 今野聖士 (名寄市立大学保健福祉学部教養教育部)

E-mail am.jssm.nayoro@gmail.com

電話 01654-2-4199 (内線1210) 研究室直通

01654-2-4194 名寄市立大学 (代表)